

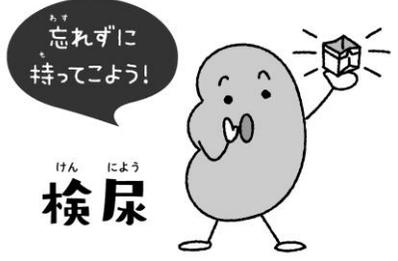
ほけんだより
旭丘小学校

いのち

じぶんのいのち、みんなのいのちをたいせつにしよう。
2022年(令和4年)4月12日



尿検査のお知らせ



1次検査：4月13日(水)
予備日：4月14日(木)
2次検査：4月28日(木)

登校後、すぐに各教室で回収します。生理と重なった人は、2次検査日(4月28日)に提出してください。その場合は、担任または養護教諭へお知らせください。
検査結果は、所見があった人のみお知らせします。1次検査の結果、再度検査する必要がある人は、2次検査の案内を出します。

<今日持って帰るもの>

- 検尿容器
- 検尿コップ
- バーコードラベル
- 提出用袋

※検尿コップの組立てが難しい場合は、家庭にある紙コップ(新品)で代用されても構いません。

<尿検査容器へのバーコードラベルの貼り方>

各自にバーコードラベルがついています。尿を容器にとったあとに、バーコードラベルを縦向きに貼ってください。
※横長に貼ると、読み取ることができません。



尿検査では、尿のもとを作っている「腎臓」が病気になっていないかを調べます。腎臓は、病気になっても「痛い」「かゆい」などの症状が出ることはほとんどないため、病気を見逃してしまうことがあります。尿検査は腎臓の病気を見つける手がかりとなる大切な検査です。正しい方法で尿をとり、忘れずに持ってきてくださいね!

尿検査の結果から、どんなことがわかるの?

尿たんぱく	尿糖	尿潜血
腎臓の働きが悪くなると、たんぱく質が腎臓で吸収されず、たんぱく質が尿に混ざることがあります。また、激しい運動の後や、高熱のとき、脱水のときなどにも出る場合があります。	血液中の糖の量(血糖値)が多くなると、腎臓で吸収されず、尿の中に糖が混ざることがあります。また、腎臓のはたらきが低下している場合にも、尿中に糖が出る場合があります。	尿に血液が混ざっている場合、腎臓や膀胱(尿をためるところ)などから出血している可能性があります。生理前後の尿では、経血が混じって陽性となることがあります。

<正しく尿をとるために>

- 検査前日は、寝る前にトイレへ行きましょう。
- 朝起きたらすぐに尿をとりましょう。
- ※子どもの場合、病気でなくても少し動いただけで尿中にたんぱくが混じることがあります。
- 最初の尿を少し出した後の途中からの尿(中間尿)をとりましょう。
- ※出はじめの尿は、汚れなどが混ざりやすいため、正しい検査ができません。



《検査前日の過ごし方》

- 夜間に及ぶ激しいスポーツは控えましょう。
- 入浴して体をきれいにしておきましょう。
- 夕方からはビタミンCを多く含んだ食品や薬品を摂らないようにしましょう。
- ※潜血の偽陰性(実際は陽性なのに、陰性と判別されてしまうこと)の原因となります。